

ただ今 **活動中** ひた向きに頑張ります！



衆議院議員 **水戸まさし**

## 数々の委員会にて質疑続行中！

- 1/23 予算委員会「安倍総理と質疑」
- 2/23 総務委員会「消防の救急体制」
- 2/24 総務委員会「地方税,交付税法等」
- 2/25 予算第5分科会「脳卒中対策」
- 2/25 予算第6分科会「アスベスト救済法」
- 2/26 総務委員会「安倍総理と再び質疑」
- 3/9 国土交通委員会「アスベスト対策」
- 3/15 総務委員会「相次ぐNHK不祥事」
- 3/22 総務委員会「NHK子会社の剰余金」

※質疑の様子はインターネットでご覧いただけます。  
「HP」、「Youtube」、「衆議院インターネット審議中継」で検索！

### 総務委員会 2/23

「消防の救急体制について高市大臣と質疑」  
近年、増加の一途をたどる救急出動件数や搬送人員。その中には、様々なレベルの事態が含まれており、住民にとっては全てが緊急であり、一概に本当に必要があったのかを問うことはできません。しかし、その中でも、心臓病や脳卒中などの患者への対応には、医者専門知識が必要であり、救急車の中で、救急救命士がどこまでできるのか、大きな鍵となっています。



### 予算第6分科会 2/25

「アスベスト対策について丸川大臣と質疑」  
石綿による健康被害の救済のための救済法が、平成二十三年に改正されましたが、一定の前進があったものの、労災補償に比べまだまだ見劣りがします。認定、判定基準の大幅な見直しも必要です。手続きの簡略化、認定の迅速化も必要です。アスベスト問題をまだまだ過去の問題にしてはいけません。

### 予算第5分科会 2/25

「脳卒中対策について塩崎大臣と質疑」  
日本人の死因第四位、介護原因の1位を占める脳卒中。横浜市のt-pa治療の導入を取り上げ、いち早く適切な治療を始めることが、治療はもちろん、病後の回復へも大きな影響があることから、医療費と介護費用への影響についても有効であるということです。ですから、国の取り組みとして、がん対策法に倣った脳卒中対策基本法の早期制定が必要です。

### 総務委員会 2/26

「アベノミクスの実態、東京と地方の格差について総理と再び質疑」  
アベノミクスの一定の評価はしますが、結果として、成功しているとは考えられません。安倍総理が言われるトリクルダウンは全く実現していません。総理はトータルで、税収が増えた賃金も増えたと言いますが、それは東京を中心とした都市部でのこと、地方には全くその効果は見えません。実体経済、地方経済の実情をしっかりと見つめた上で有効な対策を打つべきです。



今月の

水戸まさし応援団

認知症事故に思うこと

我が家の朝は、何日何曜日、お天気は、で始まる。あれ、これ等が多く、名前が出てこない会話と物忘れによる探し物は日常茶飯事のこと。高齢者による事故が他人事ではないと思っている。認知症の人が、徘徊して列車にはねられた事故を巡り、介護家族がどこまで賠償責任を負うのか、三月一日の最高裁判決は、今後の日本社会の在り方を決める注目の裁判となった。

国内の認知症高齢者は五百二十万人おり、多くは自宅で暮らす老老介護だという。生きていく限りは、誰もが年を取り、心身が思うようにまかせず、自ら望まぬ認知症という現実に見舞われたいらどうしようと思われない。

高齢者が、最後まで生きがいを持って安心して暮らせる社会の仕組みや地域ぐるみで支える体制の具体的な制度作りが必要だと思う。

水戸応援団  
Mチーム 益田正廣

- ◆HP 「水戸将史」で検索
- ◆メール kickoff310@yahoo.co.jp
- ◆Face book 「水戸将史」で検索
- ◆Twitter @mito\_kickoff
- ◆メルマガ 登録はHPから

- ◆国会事務所  
〒100-8982  
東京都千代田区永田町2-1-2  
衆議院第二議員会館601号室  
TEL:03-3508-7027 FAX:03-3508-3827

- ◆地元事務所  
〒245-0008  
横浜市泉区弥生台26-6  
TEL:045-814-3001  
FAX:045-814-3007